

地域力

平成の大合併の中で単独の道を選んだ玖珠町。今、町のあらゆる魅力を結集した新たなまちづくりが進んでいる。機関庫、祇園大祭、伐株(きりかぶ)山など、町を語る核となるシンボルは地域の人たちのつながりで守られてきた。少子高齢化で揺らぐ地域の絆を次代のために絶やさない、町の若手リーダーたちは奮闘している。



万年山とまちなみ

民間で町づくり戦略室設立

何ができるか考えたい

藤内 地域を盛り上げていくために課題を洗い出し、どんな玖珠町にしたいか、今何ができるかを一緒に考えたいと思います。まずは自己紹介から。

桑野 「とんかつ東華」を経営しています。趣味はパラグライダー。井さんの出身地である対馬市(長崎県)で飛んだこともあります。町づくりでは、玖珠の米粉をブランド化する6次産業化のコーディネートをしています。力と知恵を貸してください。

吉田 駅通りで飲食店を営んでいます。趣味は読書と貯金と親孝行(笑)。酒を飲みながらみんなと話すのが今一番楽しいです。

井 出身は長崎で、こちらに来て4年目。地域と共にという思いがあります。

穴井 役場に入って20年くらいになりますが、道路づくりなど現場が長く、今年度から町づくり全般に携わっています。各課の調整、町の将来構想を策定している水戸岡鋭治先生(工業デザイナー)との調整、地域への説明を最近の業務としています。少年サッカーの指導をしていて、吉田さんが監督、私がコーチです。

村上 企業のコンサルティング、M&Aなどを担当しています。きょうは皆さんと課題を共有しながら、建設的な話ができればと思います。大分銀行玖珠支店に2年いて、妻も玖珠でもらったので町には縁があります。

課題は連携と情報共有

藤内 入社して15年、記者をしています。ここ8年は主に事件事故の担当です。それで早速本題に。分科会のテーマは「地域力」ですが、地域力

と言っても間口が広い。人によって定義が違うと思いますので、どんなイメージを持っているか聞かせてください。

穴井 コミュニティーにぎわいを、今の世代でしっかりつくり込んでいくことが必要だと思っています。それぞれが実効性のあるものをつくり、世代交代して自分たちが主役になった時に結び付けられるようにしたい。

井 祭りや福祉施設の慰問はやっていくと思いますが、僕の中で大きいイベントは童話祭。今後何らかの形で貢献し、町の人たちとの触れ合いを続けていけたらと思っています。

吉田 地域力とは簡単に言うと総合力かな。今の課題は連携と情報の共有。どこに人が足りないのか、誰かどういふことに興味があるのかなどを掘り下げて、みんなが縦横無尽につながれば、効率のいい何かができるんじゃないでしょうか。現場主義なので、とにかく率先して動いて、人を誘って。加わりたくなる雰囲気や、続けて来てもらえるような楽しさをどう用意するか。そういうことをいつも考えています。

桑野 経済が豊かになり、それなりにみんなの豊かさのバランスが崩れている気がします。自分のことにしか関心がないというか。自衛隊の人と一緒にサンタの格好をして、パラグライダーで伐株山から降りてお菓子を配る取り組みを続けていますが、町の人はもう少し自衛隊に関心を持ってみてはと思う。

藤内 地域力は人のつながりとか結び付きということでしょうか。

村上 「連携、共有」は課題ですが、そこが地域力だという点は皆さん共通しているようですね。

続けることばかりに力

藤内 地域力を高めるために課題になってい

る点を挙げてください。玖珠町は平成の大合併で合併せず、まとまりがある町というイメージがありましたが、そうでない面もあるようです。

吉田 少子高齢化が進む中で、親世代やシルバーの人たちが勢いを出して取り組んできたことの中身がスカスカになってきている。続けることにエネルギーを取られて、本当にどうすべきかを考えるのが先送りになってしまっ。改革するにはエネルギーがいるので、なかなか難しいところです。

穴井 人がいないから、プラスワンまで考えが回らない。

吉田 例えば童話祭。商業的なイベントの側面が強くなりすぎて、本来のコンセプトが薄れつつある気がします。運営を維持するのに人手が割かれて、本当に今のままでいいのかという話し合いが足りていない。

藤内 議論をする場がないと。

吉田 われわれの世代は横のつながりはできてきたと思いますが、上下の世代とは難しい部分もある。

若い人を引っ張り出す

藤内 吉田さんは森祇園の事務局を担っていて、11年前から毎年7月、町内各地区の祇園を集めた大きな祭りを開いているそうですね。

吉田 商工会青年部にぎわいをつくらうと、若いエネルギーに押されたのがきっかけでした。進めていく中で地区の人の顔が見えてきて、連携ができた。シルバーの人たちが実権を持っている中で意見を通すのはほげけんかのようで、非常にエネルギーを要しました。しかし、続けていると地域の人も認めてくれる。他の場面でもつながることができるようになり、全体的にはいい効果

がありました。中心になったのは20〜30代。先輩方にもずいぶん助けしてもらいました。

藤内 以前、祭りは地域力のバロメーターとおっしゃっていました。

吉田 昔からみんなが大事にしてきた祭りを中心にコミュニティができていたが、それを維持できなくなった時に生活も維持できなくなるのかなと。いろいろな所を見てそう実感しています。

藤内 若手が少なくなってくると、祇園の存続も課題になります。今の若い人たちの状況は。

吉田 確かに周りのことを考えずに行動する人が多いとは思いますが、違う楽しみを教えることがスタートラインかなと。引っ張り出すのはつながりしかない。取り組みの中身が良ければ楽しくなるし、楽しそうな所には行きたくなりますよね。駐屯地の若い人たちが積極的に手伝ってくれる人が増え、「当日だけでなく、準備も行きなさい」と言ってくれるようになりました。

井 祇園が10年目の時に多めの人員提供をした。私的に出た人もいたので貢献したかもしれません。

子どもにおはやし伝授

藤内 自衛隊のボランティア参加も大きな支えになっているんですね。

吉田 ありがたい。若い人がかなりいますから。

桑野 子どもたちにおはしを教えるといふんじゃないか。

穴井 つながるといいですよね。子どもの時から文化に触れて、大人になったらする側になると。吉田 子どもたちの気持ちを大人が頑張って育てていかないと。われわれもしてもらったから今がある。

村上 将来的に玖珠に残る、帰ってくるには働

く場所の問題があります。

桑野 企業誘致はあり得ますか。

村上 雇用を生むことで地域を再生していくのがわれわれの企業理念ですが、政策的に玖珠に企業が来る

となると確かに難しい。住みよい町にするというの一つの可能性です。若い人が住んでくれるようなストーリーをつくる。町としてそういう方向はあります。

穴井 一番手はやはり企業誘致です。投資もしますし、雇用に関する助成や良い人材を育てるための補助金を出そうとしています。実際に職場を求めようとする短期的には難しいので、いかにこの町に住んでもらうか。祇園のようにぎわいづくりや児童文化の面を充実させるなど、町の魅力アップについても話し合っています。国が「地方創生」に力を入れている今の時期を生かさない手はない。ただ、製造関係の大きな雇用があったとしても、求めるサラリーに釣り合うのか。

吉田 日本全体の社会構造の話にもなりま

す。

穴井 年収300万円の人が3人目の子どもを産もうとした時に、どれくらい助成すれば生活が成り立つのか、試算もしています。

吉田 観光で食べられる人が増えれば投資する価値はあるかな。

穴井 生産者にも相乗効果があるかもしれない。

アドバイザー
大分ベンチャーキャピタルサマネージャー
村上栄俊さん

井 場所があれば、やっていけると

思います。

穴井 成功しているところはストーリー立てが

しっかりして、みんなが同じ方向を見て頑張っ

ているという印象です。

桑野 掛けパン、童話祭で売ろうかな。もうけよ

うというより、1次産業を支えるのか一番の目標。

穴井 2*。2千円の米はあり得ますが、町の中

にもいろいろな土地があるので、ブランド化する

にはつくる場所を絞らないと難しい。大英断でこの

地域は米、ここは野菜とかすれば効率的にお金

も入ってくると思いますが、なかなか言えませ

ね。ブランド化には地域の仕分けも必要になる。

桑野 ブランディングをするのはどこがいいん

でしようか。役場、民間、農協?

村上 町がする差別化が難しいので、主体は

個人や団体でしょうか。一つの地区だけがブラン

ディングすると周りが損をするかという、そうは

ならない。成功例の黒川温泉(熊本県)もふたを

開けると格差はある。ただ黒川というブランドを

つくったので、農家の延長でいる旅館でも収益

が上がっている。

町全体のデザイン依頼

藤内 観光地としての魅力づくりを地域づくりに生かさない手はないということですが、現状は。

穴井 水戸岡先生と2013年12月にまちづくりのデザイン事業を契約し、玖珠町全体のデザインをするために①森町の通り②機関庫③豊後森駅④森駅通りの商店街⑤町のシンボルである伐株山の5エリアを選定したところです。森駅は駅前広場の整備として完結しましたが、機関庫は全体を公園として整備する中でイメージを調整しており、トイレと展示スペースを備えた建屋が6〜7月ごろオープンする予定です。伐株山は山頂のあずまやを改修し、天候に左右されない展望所を作り、コーヒーやパンを楽しめるような場にします。商店街は森町ののれんを使いながら、店舗に水戸岡先生のイメージするカラーを使っていく。中身が大切なので、何度も調整をしているところです。J.Rのデスティネーションキャンペーン(DC)期間中にはオープンしようとしています。

桑野 伐株山は日本で5本の指に入るパラグライダーの聖地。山の雑木を切ってブラッシュアップしたら、一目八景(中津市耶馬溪)のように、みんなが行きたくる山になるのでは。

穴井 組織の声だと話をしやすくなるので、ぜひパラグライダーをする人たちが町づくりに関わってほしい。

3次産業が農業を支える

藤内 米粉の展開は。

桑野 昨年度の取引価格が下がったことは、玖珠の消費の流れを縮小させた。玖珠は農業の町だと実感しました。割れ米を使った米粉でパンやクッキーを作っていますが、ダブルスタンダードというか、米を2*。2千円以上で売れる流れと、米粉を消費させる流れを作った方がいいと思う。収量が落ちた時に誰か支えるかとなると、俺たち地元の3次産業の人間が換金するシステムをつくらなくてはと思っています。きょう持ってきたこのきな粉は米と輪作した大豆で作りました。玖珠の大

豆と米粉で作った「揚げパンきな粉」を商品化し、これで基礎を支えて、玖珠の田んぼの中から2*。2千円のエースをつくることができました。

村上 時間と資金と…。

桑野 人が大切ですね。きょうのようにいろいろな立場の人が集まる場があれば、どうしたら実現できるかや、モデルケースをやってみて改善するとか、話し合える。

村上 広げ方、ストーリーの立て方は重要で

す。

桑野 井さん、定年した時、農業で起業した成功例があったらする?マニュアルとかあったら。

村上 地区の特性があるので、玖珠での成功例が必要になる。地元の人がしっかりつくることで、将来やってみようという人が出てくると思

います。

藤内 成功しているところはストーリー立てが

しっかりして、みんなが同じ方向を見て頑張っ

ているという印象です。

桑野 掛けパン、童話祭で売ろうかな。もうけよ

うというより、1次産業を支えるのか一番の目標。

穴井 2*。2千円の米はあり得ますが、町の中

にもいろいろな土地があるので、ブランド化する

にはつくる場所を絞らないと難しい。大英断でこの

地域は米、ここは野菜とかすれば効率的にお金

も入ってくると思いますが、なかなか言えませ

ね。ブランド化には地域の仕分けも必要になる。

桑野 ブランディングをするのはどこがいいん

でしようか。役場、民間、農協?

村上 町がする差別化が難しいので、主体は

個人や団体でしょうか。一つの地区だけがブラン

ディングすると周りが損をするかという、そうは

ならない。成功例の黒川温泉(熊本県)もふたを

開けると格差はある。ただ黒川というブランドを

つくったので、農家の延長でいる旅館でも収益

が上がっている。

次世代に力をつなげる

藤内 目指す

べき町の姿、今

できることを考

えたいと思

います。

桑野 新しい

仕組みをみんな

で考える場をつ

く。きょうみた

いな会議はいろ

んなポジショ

ンの人が集まっ

ていてとても良

かった。

吉田 戦略を立てたり、専門分野の人の意見を

聞いて方向性を決めたりする戦略室みたいなもの

があればいい。

井 もう少し若い世代と話すのもいい機会に

なるのでは。地域力として次の世代につなげてい

けたらと思います。

穴井 とにかく心をつないでいく。コミュニ

ティをしっかりと作って長いパンで物事を考え

ていくことが大切です。

村上 私も新しい仕組みが必要だと思

いました。

藤内 分科会のキーワードですが、これまでの

話から、連携、共有とか、心をつなぐという言葉

が浮かびました。

桑野 「ベイフワード」とか「想(じょ)」…分

かりづら

かな。

村上 穴井さんが言われた「心をつなぐ」とい

うのがしっくりきます。

吉田 まずはそこからですね。

藤内 では「心をつなぐ」でいきましょう。

穴井 移住よりも、自分たちの生活をもっと

しっかりとすることに力を入れていきたい。玖珠で

育て、住み続けたい、帰りたいと思っ

てもらえるのがベストです。

藤内 きょうはありがとうございました。

自然を愛し子どもとともに夢を育み
誇りをもてる心のふるさと玖珠

豊後森機関庫

玖珠町の明るい未来を応援します。

外科・胃腸内科・内科・
小児科・整形外科

医療法人 純和会

小中病院

玖珠町大字塚脇123
TEL0973(72)2167

通所リハビリテーション
訪問リハビリテーション
介護保険サービスセンター

TEL0973(72)5050

玖珠から全国へ!

かいぞくかりんとう

道の駅電話の里くす:大分自動車道玖珠SA(上・下線)・グリーン
ラザ良心市・トキハ玖珠センター・Aコープくす店・Hロセ玖珠店・
食事処金太郎・ローソン玖珠町総合運動公園前店・べっぴんハウスは
ら(要予約)・シーガーデンひび・さいき海の市場・福岡三越(天神)

手づくり夢工房 生田のり子

大分県玖珠郡玖珠町山田 2481-4 TEL0973-72-4198

地域の為に質の高い医療を提供できる病院を目指しています

内科・整形外科・リハビリテーション科・放射線科

医療法人玖寿会 高田病院

院長 山下 太郎

(お問い合わせ)☎0973-72-2135
http://www.takadahp.or.jp
大分県玖珠郡玖珠町大字帆足 259

医療法人 順榮会

玖珠記念病院

地域の医療を支えます
お気軽にお問い合わせください
玖珠郡玖珠町大字塚脇633番地2
☎(0973)72-1127(代)